

コロナ禍でがんばる学生のみなさんへ

実習の経験不足でも安心！ 新しい新人教育、始めます

イムス富士見総合病院

コロナ禍で実習が縮小され、技術面や患者さん対応が不安な学生も多いはず…。そこで当院では、新人が安心して看護師の第一歩を踏み出せる教育を始動します！副看護部長の武井さんに聞きました。



副看護部長
看護部教育委員長
武井 美恵 さん

不安を抱える学生のために 考え出した新・新人教育

— 2021年度から新たな新人教育を開始されますが、その経緯を教えてください。

「実習病院として、例年通りの実習が行えず経験不足を心配する実習生たちを間近で見ると、「不安に感じつつ就職してくる新人看護師にできることはないか？」と考えたことが、新たな新人教育を開始するきっかけになりました。人間が好きで、コミュニケーション能力が高いことも看護師に求められる大切な資質です。学生は、病院実習のなかで様々な経験を積み、コミュニケーション能力を培っていくのですが、コロナ禍で患者さんと接する機会が失われたため、自分とは違う世代の人や病気を抱えた人とのコミュニケーションに不安を抱く学生が増えています。そこで今年度はコミュニケーション能力を磨くことに重きを置いた研修を導入することにしました。

半分学校、半分現場の研修で スムーズに職場になじめる

— 新年度の新人教育は、具体的にどのような内容でしょうか？

「入職した4月の1ヶ月間は、午前中が座学、午後は実践と振り返りの時間というスタイルになります。まず行うのはスタンブライ研修。院内のどこでどんな職種の人が働いているか、各部署へ挨拶に訪れて説明を受けます。部署の理解につながり、職員とコミュニケーション

をとる機会にもなります。その後は感染対策や電子カルテの使い方など、1日1テーマの研修を実施。座学の後は新人を2〜3人のグループにわけ、各病棟から選ばれた教育担当の看護師が引率者となって病棟へ。患者さんとふれあいながら実地で学ぶ時間です。実地の後は新人同士で振り返る時間を設け、他者の考えから気づきを得ることが出来ます。少数グループなので新人と教育担当者の仲も深まり、配属後も頼れる先輩と出会う機会にもなります」。

— 手厚い新人教育を通じ、新人さんに伝えたいことはありますか？

「入職して1ヶ月間の研修は半分学校、半分現場というイメージ。研修終了後に部署配属となりますが、スムーズに仕事に馴染んでいけると思っています。病棟の先輩たちもその後の新人教育をしっかりサポートします。十分に実習ができたことと心配する新人も、当院で安心して育つてほしいですね」。

WEB **FLAp!** ナビでは教育担当の先輩たちからの新人教育に対する温かいメッセージを紹介しています



Hospital Data

イムス富士見総合病院

〒354-0021 埼玉県富士見市鶴馬1967-1
TEL 049-256-7771(直)採用担当
<https://ims-site.jp/fujimi/kango/>



Hospital Information

当院は、地域中核病院として、二次救急指定病院、重症例に対応するICU、スムーズな在宅移行をサポートする回復期リハビリテーション病棟と地域包括ケア病棟まで、幅広い領域の技術や知識が学べる環境があります。看護師一人ひとりが成長できる教育制度が充実しています。



YouTube
就活アドバイザーの動画も
近日公開! チェックしてね



まだある! 新人教育のポイント

- およそ月1回ペースでイムスグループの研修も多数の医療機関を抱えるイムスグループの所属病院として、イムス本部主催や地区ごとの集合研修を1年目は月1回ほど実施。院外専門家によるメンタルサポートの面談もあります。
- 新人同士で語り合う「メルティ」の時間
何かと緊張しがちな1年目は3ヶ月に1回、「メルティ」の時間が設けられています。テーマを決めずに新人同士が語り合う場で、学んだことや悩みを共有できるためほっとひと息つけます。